

その後、父親が自民党の条文イメージ（たたき台）をスマホで調べて紹介。母親が自衛隊明記の理由を問うと、祖母が「自衛隊の活動や統制などを憲法に書けるし 国際社会にも分かりやすく信頼が得られるのよ」と優しく語りかける。そしてシビリアンコントロール（文民統制）や改憲の手続き、自民党の「改憲4項目」を紹介。最後に父親と母親が「新しい時代に向けて」「きちんと真剣に向き合っていく」「今このタイミングで考えなきゃいけないってことに気がつけてよかった」と安堵（あんど）の表情を浮かべる。

Timeline

「議論が深まる内容になっていない」

防衛政策や憲法9条に詳しい早稲田大学学術院教授の水島朝穂さん（憲法学）は「憲法の議論には当然、論理的な思考が求められます。しかし、この漫画では、全体的に情緒的な表現が目立ち、読み手の思考欲をくすぐったり、深みのある議論につながるような流れになっていません。漫画であっても、じっくり考えさせる内容にすることは可能だと思います」と首をかしげる。

例えば「四話」で、母親が「自衛隊を明記したら何か変わるの？ 生活に影響はでてるの？」と問うと、祖母が「特に変わらないよ」と答える場面がある。水島さんは「『変わらないなら、改憲しなくていいんじゃないの？』という反論が出てきてもおかしくない。しかし、母親は納得したのか、すぐに次の質問に移ってしまう。つまり議論になっていないのです」と言う。



23ページから。「明記しても生活は変わらない」と祖母が語る。母親は戦争を心配する＝2019年7月19日、江畑佳明撮影

特に「情緒的」と感じるのが、冒頭と最後で新元号を強調している点だという。1ページで新元号の発表シーンを描き、さらに終盤では「新しい令和時代の幕開け」というフレーズが出てくる。水島さんは「しっかりとした議論の積み重ねよりも、『新元号なのだから新たな憲法を』という空気を醸成したいのでは、との意図を感じます。そもそも新元号と改憲は何の関係もありません」と話す。

自衛隊の実績を削除？

さらに水島さんは「自衛隊のカンボジアなどのPKO活動に触れていないことに違和感を覚えます」という。水島さんは「憲法への明記に支持を得たいなら、国際貢献活動の歴史をアピールするのが自然な流れでしょう。なのに全く記述がない。その理由は、イラクと

南スーダンの日報問題という不祥事を、読み手に思い起こさせたくないからでは」と推測する。日報問題とは、南スーダンに派遣された自衛隊員の日々の記録を隠蔽（いんぺい）したとされる問題。自衛隊員の置かれた環境が危険だったとわかるものだったが、防衛省が隠していた。

安保法制も「国民が支持」？

また水島さんは17ページに注目した。自衛隊員の絵を背景に、祖父のセリフとしてひとつの吹き出しのなかに「平成27年9月には平和安全法制が成立 国民の約9割は自衛隊に良い印象を持っているし」と記載している部分だ。

「確かに災害に対応する自衛隊への国民の支持は高いのですが、安保法案には新聞の世論調査などで6割以上が反対でした。このように両方を並べると、安保法案も支持が多かったように読めます。事実反するのではないのでしょうか」

女性は無知で感情的？



17ページから。水島教授は「ひとつの吹き出し（右下）の中に、国民が支持しているものと支持していないものを並べて、両方支持されているように見せている」と指摘する＝2019年7月19日、江畑佳明

自民党は2015年にも改憲をテーマにした漫画を発表している。「ほのぼの一家の憲法改正ってなあに？」というタイトルで、これも家族で憲法について考えるストーリーだが、ドタバタ劇でギャグ漫画風に仕立てられている。それに比べると、今回の漫画は真剣なタッチで描かれ、スマートな印象が残る。

ジェンダーに詳しい大正大学准教授の田中俊之さん（男性学）は「自民党が想定している『標準的な家庭』はこれだと分かります。実際は今の日本の典型的な家族ではないので、古い考えだなという印象を受けます」と話す。現実、父子家庭や母子家庭、子のない夫婦の世帯など、家族のあり方は多様化している。田中さんは「そもそも、特定の家族の形態を持ち出さなくても、例えば教師と生徒

が憲法について話し合うなど、他にも方法はあると思うのですが」と語る。

さらに田中さんは「『女性は情緒的で無知』、『男性は知的で理性的』というキャラクターで描いており、女性に対する偏見があると感じます」とも指摘する。例えば、母親は「一話」で、世間で改憲が話題になっていることを持ち出し、「どうしてこんなに問題になるの？ なんだか不安になってきたわ」と突然夫ににじり寄る。また「四話」では娘の寝顔を見て「急に戦争になるなんてこと」「ないよね…？」と急に不安な表情を浮かべる。

Timeline

また母親は夫や祖父にいくつも疑問をぶつけていくのだが、スマホで調べるのはいつも父親。また祖父は孫娘に「メロメロ」状態で我を忘れるほどのかわいがりようだが、自衛隊や憲法についてすらすらと答える。田中さんは「祖父が家長という大黒柱的存在で、なおかつ理性的で知識がある。それに対し、母親はすぐ感情的になって無知。偏見に基づく表現だと受け止められても仕方ないのでは」と話している。

アンケートに答えてAmazonギフト券をもらいましょう！！ [PR]

こんなに危険！運転中の“ながらスマホ”～政府広報 [PR]

「ふるさと納税×都市対抗野球」でふるさとを応援しよう！ [PR]

「白髪染め辞める人続出」毎日のお風呂で黒髪になる人続出 利尻へアーカラストリートメント [PR]

プロ野球中継ってどこで観るの？プロ野球を観るための簡単な方法 DAZN [PR]

Recommended by



LINE BR.

LINEが提供する

世界最高水準のAIソリューション

チャットボット | 音声認識 | 音声合成 | OCR

事業戦略説明会

July 23, 2019 1:30 p.m.

ペルセール

30% OFF

¥15,880

¥7,128

広告

表参道 中古マンション一覧 | 多数の物件掲載、特集も充実。安心と信頼の三菱UFJ不動産販売へ

www.sumai1.com

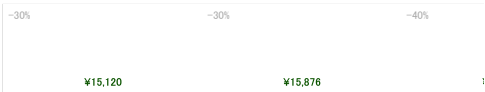
typeなら優良求人がたくさん | 月35万円以上、賞与年2回、未経験歓迎あなたにぴったりの正社員求人が見つかる

type.jp

豊島区のメルセデス・ベンツ新車 | 話題の新車が充実のラインナップメルセデス・ベンツ西池袋

m005.sternsumida.jp

Ads by Yahoo! JAPAN



ページの先頭へ戻る

ニュース総合

総合 速報 紙面掲載記事 デジタルプラス デジタル毎日スペシャル
サンデー毎日

プレミアサイト

政治プレミア 経済プレミア 医療プレミア トクTokプレミア

社会

事件・事故・裁判
気象・地震
話題
皇室
訃報
人事

政治

政治一般
選挙
国会議員名鑑

経済

企業・産業
経済政策・財政
マーケット

国際

アジア・オセアニア
北米
欧州
中東
中南米
アフリカ

サイエンス

医療
科学・技術
環境

スポーツ

野球
高校野球
社会人野球
サッカー
ラグビー
五輪
相撲
デニス
ゴルフ
競馬
その他

毎日新聞のアカウント

毎日新聞のアプリ

デジタル紙面
iOS Android
ニュースアプリ
iOS Android

索引・検索

サイト内検索
記事データベース

媒体別リンク

The Mainichi
ユニバーサロン
毎日まんがニュース
毎日プレミアムモール（連載）

オピニオン

社説
余録
解説
コラム
毎日ジャーナリズム
スペシャルレポート
ひと
世論調査

カルチャー

連載小説
連載漫画
芸能
将棋
囲碁
芸術・文化
クラシックナビ
映画
音楽
本・書評
万能川柳

ライフ

おんなのしんぶん
ライフスタイル
食
ファッション
就職・転職
住宅
旅行

教育

受験
毎日小学生新聞
15歳のニュース
@大学
vote18
毎日ウィークリー
ニュースがわかる
キャンパス

地域

大盛り北海道
いりやあせ名古屋
めっちゃ関西
オッショイ！九州
首都圏版

写真・動画

MAINICHI
PHOTOGRAPHY
毎日動画